

9.7 fri ラ・ポワント・クールト / 9.14 fri カンファー・マスター!

Agnès Varda
La Pointe Courte
Le Petite Amour



監督最新作

顔たち、ところどころ
9月15日[土]より劇場公開!

Agnès Varda アニエス・ヴァルダ

1928年5月30日、ブリュッセル生まれ。はじめ写真家として生計を立てるが、友人の俳優ジーン・ヴィラールの招きによって国立民衆劇場の舞台写真家となる。名声を確立したヴァルダは、映画の経験を全く持たないまま処女長編作『ラ・ポワント・クールト』を55年に監督する。フランス映画界の常識から完全に孤絶して作られたこの作品は、ヌーヴェル・ヴァーグの最初の長編とみなされることもある。58年にジャック・ドゥミと出会ったヴァルダは翌年彼と結婚。ドゥミが亡くなる90年まで二人は夫婦だった。代表作は、『5時から7時までのクレオ』(61)『幸福』(65)『冬の旅』(85)『ジャック・ドゥミの少年期』(91)『落穂拾い』(2000)『アニエスの浜辺』(2008)など。

ラ・ポワント・クールト

La Pointe Courte

9.7[金]

1955 / 仏 / 86分 / Blu-ray



監督・脚本：アニエス・ヴァルダ
撮影：ルイ・スーラヌ / ポール・スーリニャック / ルイ・スタイン
編集：アラン・レネ
音楽：ピエール・バルポー
出演：フィリップ・ノワレ / シルヴィア・モンフォール

ラ・ポワント・クールト出身の若い男(フィリップ・ノワレ)が駅で妻を待っている。彼女はパリ出身だ。4年続いた二人の結婚生活は危機を迎えていた。お互いの関係や愛とは何かについて二人が議論するのと平行して、周囲では様々な人々の人生が繰り広げられていく。貧しい漁師たちは衛生上の問題によって国から禁止されている漁によって生計を立てようとし、一方幼い子供は原因不明の病気によって命を失う。

カンファー・マスター!

Le petit amour

9.14[金]

1987 / 仏 / 80分 / 35mm



監督：アニエス・ヴァルダ
脚本：アニエス・ヴァルダ / ジーン・パーキン
撮影：ピエール＝ローラン・シュニュー
音楽：フィリップ・ベルナル
出演：ジェーン・パーキン / マチュー・ドゥミ / シャロット・ゲンズブール / ルー・ドワイヨン

離婚したばかりのマリー(ジェーン・パーキン)には、ルーシーとルルの二人の娘がいる。ある日、ルーシーが開いたパーティーでマリーは14歳のジュリアンと出会う。背が低く、ぶっきらぼうなこの少年の中に、マリーは感受性豊かな側面を見つめる。「Kung Fu Master (スパルタンX)」のビデオゲームに熱中し、友人たちと下品な冗談に興じるこの少年に、マリーは何とか近づこうとするのだが…。

新文芸坐シネマテーク vol.24

アニエス・ヴァルダ 特集

	開場	開映	
9.7[金]	19:00	19:15	ラ・ポワント・クールト
9.14[金]	19:00	19:15	カンファー・マスター!

各日、映画終了後に映画批評家・大寺真輔さんの講義が60分程度ございます(講義終了22:00頃)

■特別料金

一般 1800円
学生 1700円
前売・シニア・友の会 1500円

※当日は整理番号順でのご入場となります
※整理番号付き前売券は8.10[金] 10:30より
当館窓口のみで販売開始

大寺真輔

映画批評家、早稲田大学・日大芸術学部講師。「キネマ旬報」「文學界」「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」などで映画批評を執筆。著書に「現代映画講義」など。IndieTokyo主宰。



感動はスクリーンから

新文芸坐

03-3971-9422
www.shin-bungeiza.com
twitter:shin_bungeiza

東京都豊島区東池袋1-43-5
マルハン池袋ビル3F

池袋駅東口より 徒歩3分

池袋駅 西武百貨店 目白一丁目 新宿

PARCO 池袋店

池袋駅 西武百貨店 目白一丁目 新宿

池袋駅 西武百貨店 目白一丁目 新宿

池袋駅 西武百貨店 目白一丁目 新宿

共催：IndieTokyo

